

令和7年9月5日(金)
ファシリテーション研修
(相談演習講師養成コース)
9:20~9:30

研修と人材育成について

～研修の演習講師に必要なこと～

一般社団法人 福井県相談支援専門員協会
代表理事 村上 美恵子

ファシリテーターと演習講師

中立な立場で、チーム（グループ）の

①プロセスを管理（相互理解や合意形成の支援）し、

②チームワークを引き出し（活性化）、

③そのチームの成果が最大になるように支援する
人

ファシリ
テーター

演習
講師

研修の
講師

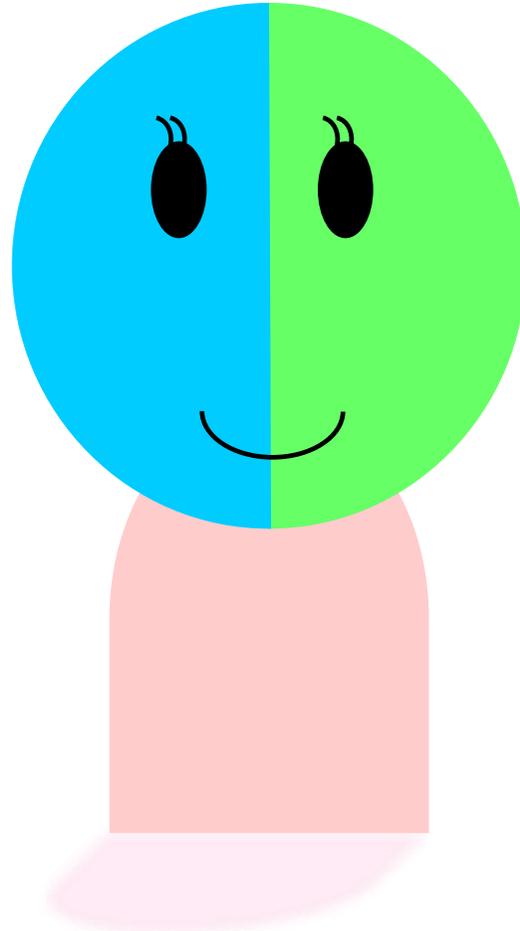
研修の意図を理解し、ファシリテーションスキルを活用しながら、演習（GW）を効果的に進め、受講者の理解を深め、その成長を促進するための支援を行う
演習…実際の現場を想定して練習を行うこと

特定のトピックやスキルに関する教育やトレーニングを提供する
専門家または指導者
受講者の理解を深め、その成長を促進するための支援、指導を行う人

研修における「演習講師」の役割（2面性）

【左の顔】
相談支援・叱咤児管に
必要な知識・技術を
伝える

【中核的要素】
研修の獲得目標
相談支援の目的
相談支援の基本的視点
関係づくり、計画作成の
スキル



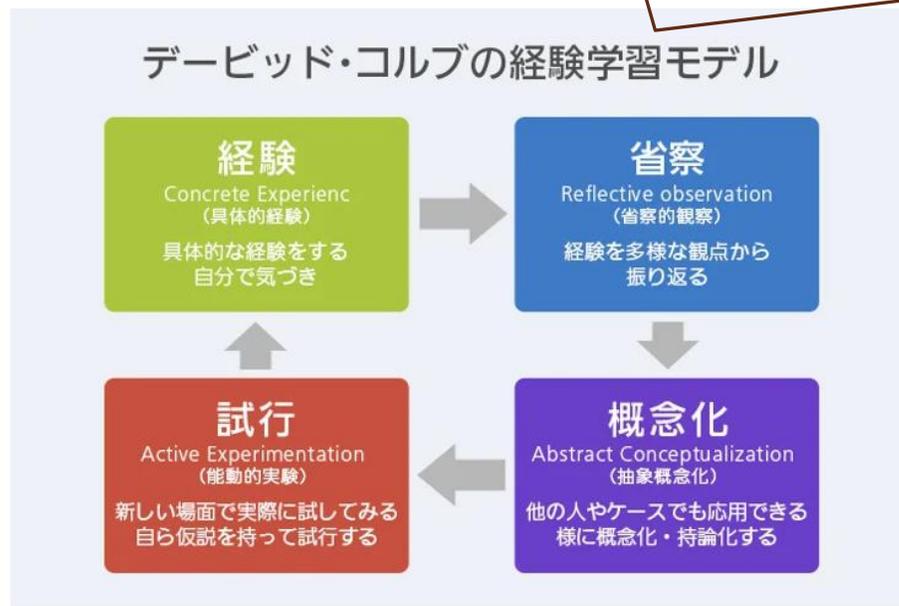
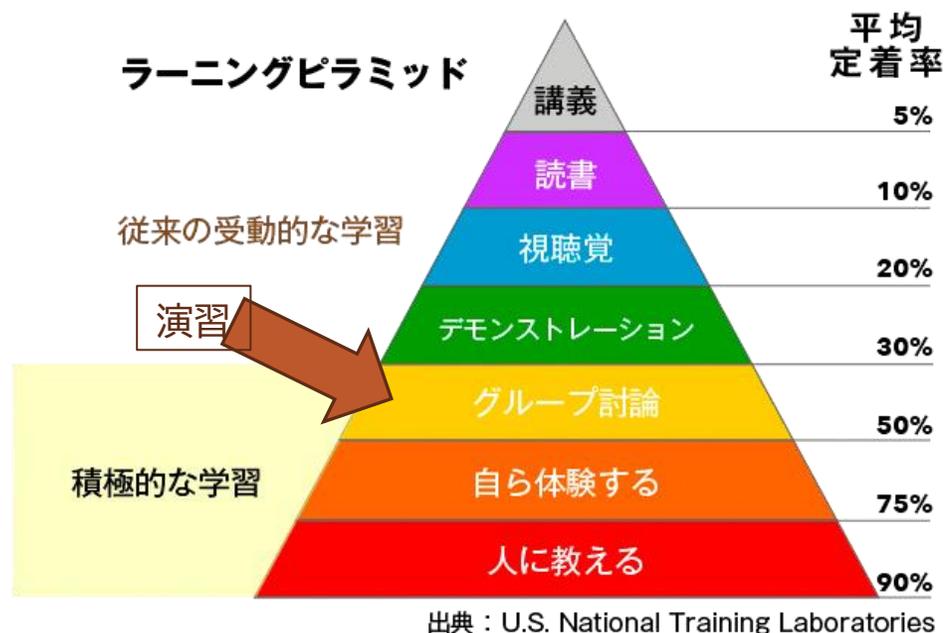
【右の顔】
ファシリテーターとして
場を活性化

【中核的技術】
場の安全・安心
場の活性化
発散と収束
要点まとめ
2～3人シェア
空中戦から地上戦

演習講師に求められること①

【研修に演習が必要な理由】

経験から学んだ知識やスキルを次の経験に活かす学習モデル
このサイクルを繰り返し行うことで経験が知識に変換されていく



積極的・主体的な学習ほど定着しやすい

演習の中で、プロセスを意識することも大切

現場から離れて振り返りを行うことで気づきも多い

演習講師に求められること②

【演習講師が必要な理由】

1. 受講者の満足度の向上（演習指導者一人では困った症状に対処できず、研修自体が辛くなってしまう） **主体性の向上、気づきの促し**
2. 受講者の学びの向上（突然選ばれた進行役では、演習のプロセスを把握できず、学びが深まらない） **主体的な学びにつながる、気づきの促し**
3. 人材育成（演習講師を担うことで、**演習講師自身の力量がアップする**）

演習講師に必要なこと①

実地教育従事者のコンピテンシー

カテゴリー	サブカテゴリー	具体的な行動の例
態度・価値観	地域の相談員を尊重する	・地域の相談員に対して、敬意を持った姿勢で接することができる
		・地域の相談員に対して、共感する姿勢を持つことができる
	地域の相談員の状況を理解する	・地域の相談員の業務量を理解する姿勢を持つことができる
		・地域の相談員の所属する法人や事業所の視点を含めて理解する姿勢を持つことができる
		・地域の相談員の経歴を理解する姿勢を持つことができる
	メンターとしての役割を意識する	・困ったことを相談できる関係性の構築を意識できる ・今、困っていることを理解して話を聞く姿勢を持つことができる
知識・技術	ミクロ・メゾ・マクロの相談支援の知識と技術	・意思決定支援を実践できる
		・フォーマル、インフォーマルな資源を活用できる ・協議会等を活用して、社会資源の開発等ができる
	地域の特性の知識	・地域のフォーマル、インフォーマルな資源を活用できる
		・地域の相談支援体制における主要な機関について把握している
		・地域の人口や資源数等を把握している
	事業所運営の知識	・人事管理、経営管理の知識がある
		・相談支援事業におけるリスクマネジメントに関する知識がある
		・コンサルテーションを行うことができる
	スーパービジョンの知識と技術	・スーパービジョンの知識がある
		・スーパーバイザー、スーパーバイジーの経験がある
	個別での対応の知識と技術	・地域の相談員の状況や能力に応じたフィードバックを行うことができる
		・進捗のモニタリングができる
		・地域の相談員の課題や特性をアセスメントできる
	集団での対応の知識と技術	・地域の相談員の特性や課題を把握する機会を設けることができる
・ファシリテーションを行うことができる		
人材育成の研修の企画	・人材育成に関する研修等の企画ができる	

コンピテンシーとは

・優れた成果を創出する個人の能力や行動特性、価値観や思考パターンなどを指す：実践能力
・高い成果を出す人物に共通して見られる行動特性

長野大学 相馬大祐准教授作成資料引用

演習講師に必要なこと②

実地教育従事者のコンピテンシーにおける態度・価値観

カテゴリー	サブカテゴリー	具体的な行動の例
態度・ 価値観	地域の相談員を 尊重 する	▶ 地域の相談員に対して、 敬意を持った姿勢 で接することができる。
		▶ 地域の相談員に対して、 共感する姿勢 を持つことができる。
	地域の相談員の 状況 を 理解 する	▶ 地域の相談員の業務量を理解する姿勢を持つことができる。
		▶ 地域の相談員の所属する法人や事業所の視点を含めて理解する姿勢を持つことができる。
		▶ 地域の相談員の経歴を理解する姿勢を持つことができる。
	メンターとしての役割を 意識 する	▶ 困ったことを相談できる関係性の構築 を意識できる。
▶ 今、困っていることを理解して話を聞く姿勢 を持つことができる。		

演習…実際の現場を想定して練習を行うこと
 なので、演習講師のコンピテンシーも同様と思われる
 「地域の相談員」⇒「受講生」
 に置き換えて

主役は、受講生！

演習講師に必要なこと（まとめ）

【左の顔】
相談支援・叱咤 児管に
必要な知識・技術を
伝える

【右の顔】
ファシリテーターとして
場を活性化

【私たちの態度・心構え】

- ・受講生を尊重する
- ・受講生を理解し、共感する姿勢
- ・聞きたいことを何でも聞ける関係性の構築
- ・研修でいちばん成長するのは、私たち（教えることは2度学ぶこと）

【意見をたくさん引き出すために】

- ・主体性をもって、水平的に学べる学習環境（場）を提供
- ・楽しく自由な雰囲気を作る
- ・場の力を活用「皆さん、どうしましょうか」

県での実践を地域、事業所にも→「育ち合う地域」に

人材育成は地域づくり